

# 歴史・文化セミナーのご案内



2022年5月～7月

※セミナーのお申込みの受付は、4月1日(金)から開始します。

5/21  
(土)

## 笠置寺弥勒立像磨崖仏の復原

笠置寺本尊の弥勒磨崖仏は中世に焼失し、光背だけが残っている。当初の像は笠置曼荼羅図に描かれる他、その写しが大野寺弥勒磨崖仏とされ、長く線彫り像だったと理解されてきた。しかし、現地に立つと光背の内側はわずかに盛り上がり、浮彫像の可能性が浮上した。そこで最新の3D画像技術を応用して当時の弥勒像の復原に挑戦し、わずかだが当初像の輪郭を発見した。その作業の顛末と復原された輪郭から推測される諸事項についてお話します。

【講師】大阪大谷大学  
教授 狭川 真一

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

6/4  
(土)

## 「大坂冬の陣」を掘る

2003(平成15)年、大阪府警察本部棟新築工事に先立つ調査で巨大な堀が見つかりました。この堀は豊臣秀吉が築いた大坂城の生玉口を囲む堀で、出土した文字資料や文献史料などの検討によって、「大坂冬の陣」の直後に徳川氏によって埋め戻されたものであることが判明しました。徳川幕府による大坂城再築によって、地中深くに埋もれた豊臣大坂城の実像について考古学から迫ります。

【講師】元興寺文化財研究所  
技師 江浦 洋

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

7/2  
(土)

## 始皇帝を支えた最強軍団 —兵馬俑に見る秦軍の組織力—

秦始皇帝陵の付属施設である兵馬俑坑には秦の精鋭部隊がリアルに表現されていた。それらを分析すると、始皇帝の天下統一を支えた軍団の強さの秘訣が浮かび上がる。講座では、最新の考古成果を交えながら、兵馬俑坑の細部に至るまで目を及ぼし、その表現から汲み取れる秦軍の組織力を解き明かす。

【講師】阪南大学  
教授 来村 多加史

【時間】13:00～14:30

【受講料】会員1,650円、一般2,200円

※各講座とも、当日の教室での受付は講座開始の30分前からです。

※価格は、消費税、設備費を含んだ税込価格を表示しています。

近畿文化会会員さまの  
お申込みは  
会員価格にて承ります。

お申込み・お問合せは

近鉄文化サロン  
阿倍野まで

(06)6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and4階  
【受付時間】10:00～19:00(日曜日は10:00～17:00)

※休業日 4/29(金・祝)～5/5(木・祝)、8/11(木・祝)～  
8/16(火)、8/31(水)、9/30(金)は受付業務を休ませて  
いただきます。

ホームページへのアクセスはこちら

近鉄文化サロン

検索

【受講のお申込みは】

- 事前にご予約のうえ、実施日の5日前までにご入金手続きをお済ませください。
- 近鉄百貨店外商部お得意さま、KIPSクレジットカード会員さま、近鉄友の会会員さま、満65歳以上の方は会員価格でご受講いただけます。  
※受付にて会員手続きが必要です。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。※ただし、一定の人数に満たない場合は、講座を中止させていただくこともございます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途)詳しくは、お申込み時にご確認ください。

